

挟まれ、足骨折

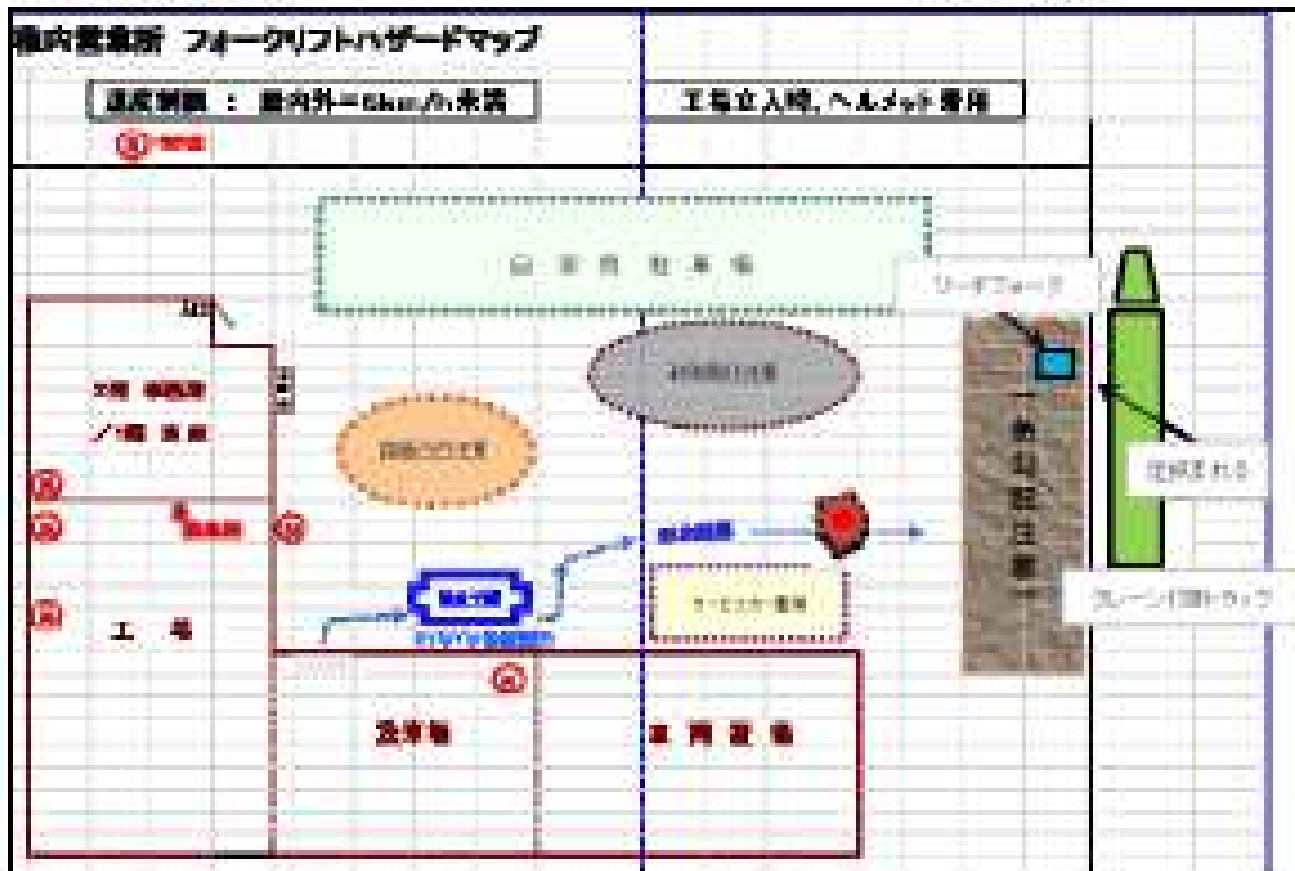
リーチフォークとセルフトラックに ドライバーの足が挟まり骨折

- 発生日時：2015年9月29日(火) 10時30分頃 天気：晴
- 発生場所：北海道稚内市 コマツリフト(株)北海道東北カンパニー 〇〇営業所
- 事故当事者 所属：〇〇運輸株式会社 職種：ドライバー 氏名：Sさん
 年齢：35歳 勤続年数：3年 経年数：5年
 フォークリフト運転技能講習：有 小型移動式クレーン技能講習・玉掛け：有
 社員区分：■正規社員 □期間社員 □派遣社員 □その他()
 運送車両：2.9t吊クレーン付セルフトラック(最大積載量：12.7トン)
 (荷台長さ：8800mm 荷台幅：2400mm 荷台地上高：1000mm)
- 事故概要 作業名：中古車FB15RLF-12 #95172 2007年製造(水産加工場使用機で劣化激しい)荷降し作業
 9/28 12:00 コマツリフト(株)〇〇支店より、運送依頼を受領、〇〇運輸社へ運送依頼書をFAX送信
 依頼内容：9/29amに、コマツリフト(株)〇〇営業所で 新車FD25-17 を引取り、
 (株)△△大幹工場(ユーザー)へ納入、下取り車のFD25-16とFB15RLF-12(当該機)を積み、
 コマツリフト(株)〇〇営業所へ輸送
 9/29 9:00 新車FD25-17 をコマツリフト(株)〇〇営業にて積み、納車先へ出発した。
 9:20 (株)△△大幹工場に到着し納車。
 10:00 (株)△△大幹工場にて下取り車FD25-16とFB15RLF-12(当該機)を積み込み出発。
 10:20 コマツリフト(株)〇〇営業所へ到着。
 10:30 中古リーチフォークFB15RLF-12を〇〇営業所入口部で2.9t吊クレーン付セルフトラックのクレーン
 にて路上で荷降ろし開始。構内入口の斜面にリーチフォークを降ろし、吊り具等をリーチフォークから外す。
 リーチフォークにドライバーが乗り、前進して入口の斜面を登ろうとしたが、バッテリーと推進力が 坂
 足らず逆に後進を始めた。ドライバーはとっさにリフトからセルフトラック荷台に飛び乗った。
 リフトに急ブレーキが掛かり、斜面上の段差でリフト本体が傾き後方(セルフトラック側)に
 傾斜・倒れた。その際ドライバーの左足がセルフトラックとリフトの間に挟まり骨折した。
 ドライバーが大声を出したので、リフトの女性従業員が乗付き救急車を呼出した。
 10:34 近所の会社の方々が積んだリフトを戻し、ドライバーを救出した。
 10:37 救急車が到着し、ドライバーを稚内市立病院に搬送。
 (ドライバーは左足脛骨幹骨断裂骨折と診断され4~6週間の入院治療)
 10:55 警察が到着し現場検証を行う。

5. 状況写真 (写真がない場合ボンチ絵でも可)

【事故発生場所】

【現場状況】



運送車両
(2.9t吊クレーン付トラック)

勾配5度の斜面



事故発生場所

FB15RLF-12